

# 2023年度 事業報告書

公益財団法人 日本ハンドボール協会

## 【2023年度 事業の概況】

2023年度は日本ハンドボール協会におきまして大きな変革の一年となりました。

組織運営面におきましては役員改選があり、2023年7月に新執行部が発足いたしました。2017年10月以来の会長交代となり、新会長の下、組織力強化を図って参りました。2020年度よりスポーツ団体ガバナンスコードに沿ってガバナンス強化を進めてきましたが、未だ規程類やコンプライアンス体制など整備・改善すべき点は数多く残っています。引き続きスピード感を持った改革を図って参ります。

以下代表活動に関しまして時系列にて概況をご報告申し上げます。

8月の広島でのパリ2024オリンピック女子アジア予選におきましては、48年ぶりの参加を目指したおりひめジャパンでしたが、韓国に1点差で敗れオリンピック出場権を逃すという残念な結果となりました。9月に中国杭州で開催されました第19回アジア競技大会では、女子が宿敵韓国に大勝し、同大会初の金メダルを獲得する歴史的偉業を成し遂げました。男子は4位という結果に終わりました。

男子はアジア競技大会からメンバーの入れ替えを行い臨んだパリ2024オリンピック男子アジア予選において見事に優勝し、36年ぶりに自力でオリンピック出場権を獲得しました。その後女子は2024年4月に行われましたIHFオリンピック女子世界最終予選で強豪相手に善戦するも、オリンピック出場権獲得には至りませんでした。2023年度は、男女共に歴史的大きな一歩を踏み出してくれたと同時に、次のロスオリンピックに向けての課題が見えた一年となりました。

国内の大会を振り返りますと、8月のジャパンオープントーナメントが台風接近のため中止となりました。数少ない社会人カテゴリーの貴重な全国大会が中止となったことは大変残念ではありましたが、参加者や開催地の安全を考えた苦渋の決断でした。

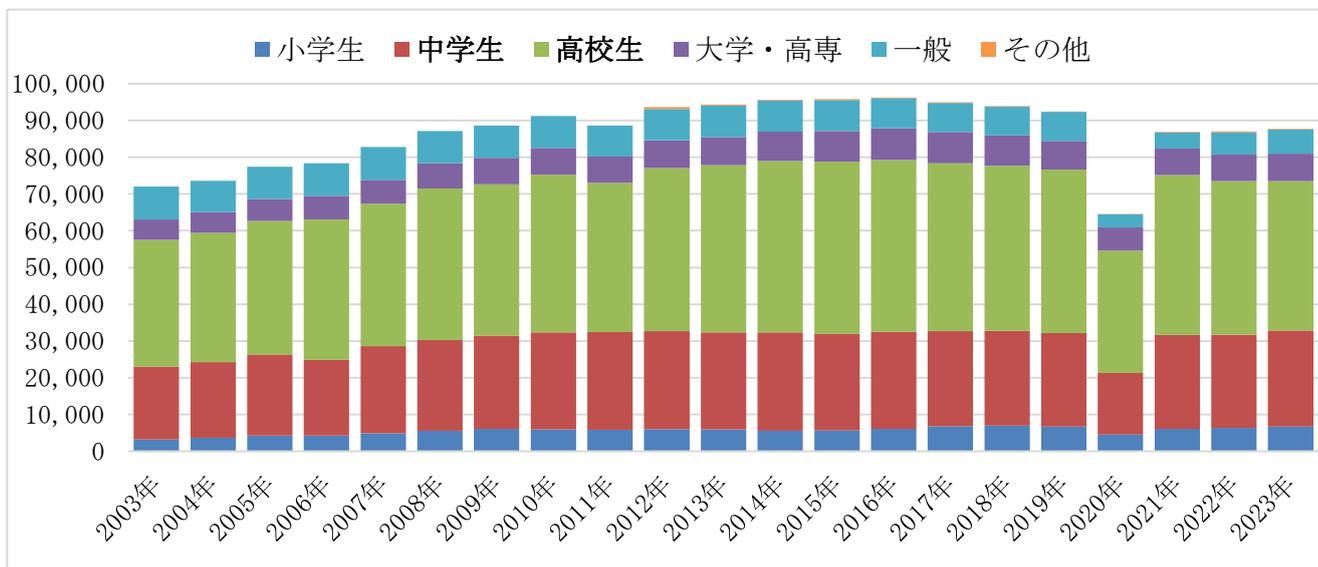
また、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震の影響が甚大かつ広範囲に及んだことから、春の全国中学生ハンドボール選手権大会の氷見市開催ができなくなりました。この大会も中止となる可能性があったのですが、福島県での代替開催を決定し、これまで準備を進めてきていただいた氷見市実行委員会、開催地の福島県ハンドボール協会と連携して無事に大会を開催することができました。

競技登録者数は87,750人（前年度対比+743人）となりました。現在のカウント基準では競技登録者に算入していないマスターズ会員は年々拡大しており、2023年度は631人となりました。スポーツ実施率の向上、生涯スポーツ、エンジョイ・ハンドボールを目的に、新しいカテゴリーとして中期計画に掲げており、今後戦略的に取り組んでいく予定としております。

2023年度は登録料の値上げをさせていただきました。これを原資に男女日本代表の強化、アンダーカテゴリー代表の海外遠征時の負担金免除に加え、幅広いカテゴリーでの全国大会のライブ配信を実施いたしました。特に中学生、高校生年代のライブ配信は再生回数が多く、保護者や関係者など支える方への還元としてニーズが高いことが確認できており、継続して取り組んで参ります。

以下、各本部、委員会単位での今年度の活動を振り返ります。

### 【参考】選手登録数の推移



## 【2023年度 事業報告】

### 1. 競技力向上に関する事業

(目標)

- 2024パリオリンピック大会出場の為、世界基準のフィジカル・技術&戦術・メンタルの向上を図る。
- 男子は欧州以外の世界で Top 5、女子は世界で Top 8 を目標
- 本年度アジア競技大会で男女ともに優勝を目指す。
- 「2024&28 強化戦略プラン」の策定と計画的な実行を推進する。
- 指導普及本部と連携し、将来人材(選手および指導者)の育成を推進する。
- 日本代表のアイデンティティを確立し、応援され、憧れられるチームを目指す。

#### 1) 男子日本代表

##### (1) 国内強化合宿

- ・ 第1回強化合宿 2023年5月15日～5月20日 (NTC) 27名参加(選手19名、スタッフ8名)
- ・ 第2回強化合宿 6月19日～6月24日 (NTC) 30名参加(選手20名、スタッフ10名)
- ・ 第3回強化合宿 8月1日～8月3日 (NTC) 24名参加(選手16名、スタッフ8名)
- ・ 第4回強化合宿 9月11日～9月19日 (NTC) 29名参加(選手19名、スタッフ10名)
- ・ 第5回強化合宿 10月9日～10月15日 (NTC) 30名参加(選手20名、スタッフ10名)
- ・ 第6回強化合宿 12月26日～1月2日 (埼玉) 35名参加(選手23名、スタッフ12名)

※ NTC: 味の素ナショナルトレーニングセンター(以下同じ)

##### (2) 海外遠征

- ・ 第1回海外遠征 2023年4月24日～4月30日 (チュニジア) 22名参加(選手16名、スタッフ6名)
- ・ 第2回海外遠征 2024年1月3日～1月8日 (スウェーデン) 29名参加(選手19名、スタッフ10名)
- ・ 第3回海外遠征 3月10日～3月18日 (フランス) 25名参加(選手17名、スタッフ8名)

##### (3) Nations Men's International Tournament 2023 in Tunisia (4/26～4/28 開催国:チュニジア)

- ・ 優勝:チュニジア、2位:アルゼンチン、3位:日本

##### (4) パリ・サン＝ジェルマン ハンドボールジャパンツアー2023 (7月31日～8月2日有明アリーナ)

- ・ 24名参加(選手16名、スタッフ8名)
- ・ パリ・サン＝ジェルマン 39 (21-13, 18-11) 24 男子日本代表

##### (5) 第19回アジア競技大会 (9月24日～10月5日 開催国:中国・杭州)

- ・ 優勝:カタール、2位:バーレーン、3位:クウェート、4位:日本

##### (6) パリ2024オリンピック男子アジア予選 (10月18日～10月28日 開催国:カタール)

- ・ パリ2024オリンピック出場権獲得
- ・ 30名参加(選手20名、スタッフ10名)
- ・ 優勝:日本、2位:バーレーン、3位:韓国

##### (7) 第21回男子アジア選手権 (1月11日～1月25日 開催国:バーレーン)

- ・ 優勝:カタール、2位:日本、3位:バーレーン

#### 2) 女子日本代表

##### (1) 国内強化合宿

- ・ 第1回強化合宿 2023年4月9日～4月16日 (NTC) 36名参加(選手30名、スタッフ6名)
- ・ 第2回強化合宿 4月23日～5月5日 (福岡・大分) 27名参加(選手20名、スタッフ7名)
- ・ 第3回強化合宿 5月17日～5月24日 (山口・香川) 26名参加(選手20名、スタッフ6名)
- ・ 第4回強化合宿 6月15日～6月28日 (和歌山・富山・福井) 28名参加(選手22名、スタッフ6名)
- ・ 第5回強化合宿 7月7日～7月16日 (沖縄・NTC) 28名参加(選手22名、スタッフ6名)
- ・ 第6回強化合宿 8月1日～8月11日 (NTC) 27名参加(選手21名、スタッフ6名)
- ・ 第7回強化合宿 9月7日～9月20日 (大阪・NTC) 22名参加(選手16名、スタッフ6名)
- ・ 第8回強化合宿 11月12日～11月20日 (京都・NTC) 26名参加(選手20名、スタッフ6名)
- ・ 第9回強化合宿 2024年1月7日～1月11日 (大阪) 25名参加(選手19名、スタッフ6名)
- ・ 第10回強化合宿 3月14日～3月31日 (福井・石川・佐賀) 29名参加(選手21名、スタッフ8名)

- (2) 海外遠征
  - ・ 第1回海外遠征 2023年7月16日～7月31日 (欧州) 29名参加 (選手22名、スタッフ7名)
  - ・ 第2回海外遠征 11月21日～11月28日 (スペイン) 30名参加 (選手20名、スタッフ10名)
  - ・ 第3回海外遠征 2024年2月26日～3月5日 (ポルトガル) 24名参加 (選手18名、スタッフ6名)
- (3) Collagenius Cup (7月26日～7月28日 開催国：ハンガリー)
  - ・ 29名参加 (選手22名、スタッフ7名)
  - ・ 優勝：日本、2位：TusSies Metzingen、3位：Alba Fehérvár KC
- (4) パリ2024オリンピック女子アジア予選Hiroshima JAPAN (8月17日～8月23日 開催国：日本)
  - ・ 29名参加 (選手22名、スタッフ7名)
  - ・ 優勝：韓国、2位：日本、3位：中国
- (5) 第19回アジア競技大会 (9月24日～10月5日 開催国：中国・杭州)
  - ・ 29名参加 (選手22名、スタッフ7名)
  - ・ 優勝：日本、2位：韓国、3位：中国
- (6) 第26回女子世界選手権 (11月29日～12月17日 開催国：ハンガリー)
  - ・ 30名参加 (選手20名、スタッフ10名)
  - ・ 優勝：フランス、2位：ノルウェー、3位：デンマーク、…17位：日本)

### 3) 男子アンダーカテゴリー代表

- (1) 国内強化合宿
  - ①男子U-21
    - ・ 第1回強化合宿 5月31日～6月 7日 (愛知・富山) 28名参加 (選手21名、スタッフ7名)
    - ・ 第2回強化合宿 6月11日～6月13日 (東京都) 28名参加 (選手20名、スタッフ8名)
  - ②男子U-19
    - ・ 第1回強化合宿 4月 3日～4月 7日 (NTC) 27名参加 (選手19名、スタッフ8名)
    - ・ 第2回強化合宿 6月19日～6月21日 (NTC) 24名参加 (選手18名、スタッフ6名)
    - ・ 第3回強化合宿 7月17日～7月23日 (NTC) 25名参加 (選手18名、スタッフ7名)
- (2) オンライン合宿
  - ・ 第1回オンライン合宿 4月3日～4月7日 (オンライン) 35名参加 (選手29名、スタッフ6名)
  - ・ 第2回オンライン合宿 7月8日～7月9日 (オンライン) 23名参加 (選手18名、スタッフ5名)
- (3) 男子ユース世界選手権 (8月2日～8月13日 開催国：クロアチア)
  - ・ 優勝：スペイン、2位：デンマーク、3位：クロアチア 4位：エジプト、…21位：日本
  - ・ 25名参加 (選手18名、スタッフ7名)
- (4) 男子ジュニア世界選手権 6月20日～7月2日 (ドイツ・ギリシャ)
  - ・ 優勝：ドイツ、2位：ハンガリー、3位：アイスランド、…19位：日本
  - ・ 28名参加 (選手20名、スタッフ8名)

### 4) 女子アンダーカテゴリー代表

- (1) 国内強化合宿
  - ①女子U-20
    - ・ 第1回強化合宿 5月9日～5月11日 (NTC) 26名参加 (選手19名、スタッフ7名)
    - ・ 第2回強化合宿 6月13日～6月15日 (NTC) 26名参加 (選手21名、スタッフ5名)
    - ・ 第3回強化合宿 6月25日～6月28日 (NTC) 25名参加 (選手18名、スタッフ7名)
  - ②女子U-18
    - ・ 第1回強化合宿 5月9日～5月11日 (NTC) 27名参加 (選手21名、スタッフ6名)
    - ・ オンライン合宿 6月11日 22名参加 (選手16名、スタッフ6名)
    - ・ 第2回強化合宿 6月27日～6月29日 (NTC) 23名参加 (選手18名、スタッフ5名)
    - ・ 第3回強化合宿 7月10日～7月13日 (NTC) 25名参加 (選手18名、スタッフ7名)
- (2) 女子ジュニアアジア選手権 6月30日～7月9日 (香港)
  - ・ 優勝：中国、2位：韓国、3位：日本 25名参加 (選手18名、スタッフ7名)
- (3) 女子ユースアジア選手権 7月15日～7月24日 (インド)
  - ・ 優勝：日本、2位：韓国、3位：中国 25名参加 (選手18名、スタッフ7名)

## 5) 強化委員会の活動

強化戦略プランの作成・改廃・進捗チェック

- (1) 強化育成戦略プランおよび段階的人材管理ツール（FTEM）作成プロジェクト参画  
2023年度アスリート育成パスウェイ構築のための研修会（ベーシック）及び説明会参加  
実施（対面・オンライン）（発掘・育成・国際との協働）
  - ・ 夏季オリンピック・パラリンピック競技大会対象事業説明会：1月31日
  - ・ アスリートパスウェイシステム（APS）発掘事業活用会 6月6日
  - ・ アスリートパスウェイシステム（APS）発掘事業公募説明会：6月14日
- (2) 独立行政法人日本スポーツ振興センター（以下、JSC）・公益財団法人日本オリンピック委員会（以下、JOC）・NF=公益財団法人日本ハンドボール協会（以下、JHA）協働コンサルテーション  
協働チームによるコンサルテーション 2月16日実施（対面・オンライン）
  - ・ 2024・28年強化戦略プランを改訂し、協働チームと共有
  - ・ 強化戦略プラン2024年度版の提出
- (3) 強化委員会（1回/月）開催  
（臨時）強化委員会 15回/年 実施（オンライン）
  - ・ 2023年度各カテゴリー日本代表チームの国際大会派遣検討
  - ・ 2023年度第2～4四半期JOC強化スタッフを選出し、JOCへ推薦
  - ・ 2023年度第1四半期JOC強化スタッフを選出し、JOCへ推薦  
（強化・情報科学・体力科学・メディカルサポート委員会との協働）
  - ・ 2023年度第2～4四半期JOC強化指定選手を選出し、JOCへ推薦
  - ・ 2024年度第1四半期JOC強化指定選手を選出し、JOCへ推薦
  - ・ 2023年度アスリート助成候補選手を選出し、JOCへ推薦
  - ・ 令和5年度U-15ジュニアセレクトカップ大会における優秀選手の選出

## 6) 情報科学委員会

- (1) ICT を活用した効果的な情報の収集・集積・フィードバックのシステム構築を推進する。
  - ・ インターネットやSNSを用いた情報収集を行い、対戦国チームのチーム情報およびフレンドリーマッチや大陸予選などの映像を取得し、それら情報は、XPSサイドラインを用いて集積を行い、チームスタッフや情報科学委員会内での情報の共有を行った。また試合時の情報フィードバックとして、ITCを用いたリアルタイムフィードバックシステムを開発し、国内外問わずに現地へ試合の統計情報などのリアルタイムフィードバックシステムを試作し、その利用を試みている。
- (2) 男女日本代表・アンダーカテゴリー（男子U-21・U-19、女子U-20・U-18）代表チームへのICT  
および情報収集、分析などの活動支援
  - ・ 担当アナリストおよび情報分析サポートチームが練習時や大会時に様々な情報（映像、生体情報、位置情報などを含む）の収取・集積・分析を行いチームの強化活動の支援を行う。

### ①男子日本代表

- ・ 担当アナリストが東京オリンピックの国内合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析をおこない、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化  
するデータの提供を行った。活動内容としては、トレーニング中の映像撮影による選手への  
フィードバックや戦術の理解、個々のスキル改善等、多岐に渡り実施した。担当アナリストが帯同  
し、これまで同様に、チーム力向上にむけた資料作成のため練習及びトレーニングマッチ時の量  
的・質的分析を行った。また、昨年度まで女子日本代表チームで行われてきた心拍数でのトレ  
ニング状況の把握も始め、効果的なウォーミングアップ強度やトレーニング時の疲労状況につい  
ての把握も行うことを始めた。

### ②女子日本代表

- ・ 担当アナリストが国内合宿に帯同し、練習時・トレーニングマッチ時の量的・質的分析をおこ  
ない、チーム力向上を目的としたスタッフ・選手のコミュニケーションを活性化するデータの提供  
を行った。練習及び試合（公式戦も含む）時に心拍数の管理を行い、効果的なウォーミングアッ  
プアップ強度の管理も行った。女子アジア選手権とこれら大会前の国内合宿に担当アナリストが  
参加し、トレーニング中の映像撮影による選手へのフィードバックや戦術の理解、個々のスキル  
改善等などのための資料を作成しチーム力向上に貢献した。

### ③アンダーカテゴリー代表チーム

- ・ 男女それぞれのアンダーカテゴリーチームの国内合宿および国際大会へアナリストを派遣し、チーム力向上にむけた資料作成のため練習及びトレーニングマッチ時の量的・質的分析を行った。特に、女子アンダー代表チームでのアジア選手権と男子アンダー代表チームの世界選手権では大会期間中には、国内で帯同アナリストの後方支援をするアナリストチームを発足させ、試合時にそれぞれの自宅からインターネットを通じて集まり、リアルタイムに試合を分析することで現地に情報を発信し続けた。

### ④アナリストチーム

- ・ 東京2020オリンピック大会期間中には、男女それぞれの担当アナリストの他に、4名のアナリストをNTCに集合させ、男女日本代表チームおよびそれぞれの対戦相手チームの量・質的分析をより高度に、より詳細に行うことで、担当アナリストの後方支援を行うシステムを構築した、それを発展させ、現在では、個々の自宅からインターネットを用いて集合し、日本チームや対戦国チームの試合のライブ分析を行い、その量・質的な分析情報をリアルタイムに現地のアナリストへ提供するシステムと構築し、それらを試行した。今年度は、従来まで帯同する担当アナリスト1名に過大な負担を強いていた業務を試合現場にいない数名のアナリストが対面およびオンラインといった2つの手法を用いてサポートするという体制ができ、従来よりも効率的な分析を行い、より高度な情報をより短時間に提供することのできる体制を構築することができた。

以下、データ共有ダッシュボードの一例

<https://lookerstudio.google.com/reporting/f6d0bfd6-536f-444e-912e-6f7ef3217af9>

### (3) 大会テクニカルレポートの作成

- ・ 代表チームの主要大会参加後、大会にて収集した情報を用いて定性的・定量的なテクニカルレポートを作成した。

## 7) 体力科学委員会

本年度の体力委員会の事業内容は、以下の二つであった。

- (1) 国内体力測定実施・フィードバック事業；  
本委員会が示している「体力レベル表（体力基準）」を用いて、2023年度の国内ジュニア優秀選手の体力レベルを評価し、フィードバックを行うこと。
  - (2) 海外体力分析評価事業；  
海外選手の体格・体力の情報を収集し分析することで、世界水準の体格およびフィットネスレベルを探索すること。
- ・ 本委員会の中心事業は、ジャパンライジングスタープロジェクト、NTSブロックトレーニング、NTSセンタートレーニング、NTAアカデミートレーニング参加選手、アンダーカテゴリー代表選手の体力測定を継続的に実施し、データの蓄積、体力レベル表（体力基準）の作成、及び現場運用（選手選考及び評価）である。2017年度から継続している体力テスト測定事業は今年度で7年目を迎えた。今年度の本委員会事業としては、NTSに参加した過去6年間（2027年から2022年まで）のジュニア選手体力測定結果より算出された「体力レベル表」を基準として、ジャパンライジングスタープロジェクト体力（6期）、NTSセンタートレーニング参加者の体力、及び、NTAアカデミートレーニング参加選手の体力の測定及びフィードバック（レベル評価）を行った。なお、体力科学委員会からの成果物として、ジャパンライジングスタープロジェクトにおける体力状況報告を当該委員会に提出した。内容は、6期生体力測定の結果・体力評価報告、体力改善率等であった。

(1) 国内体力測定実施・フィードバック事業

2023年度国内ジュニア選手体力状況；

過去にNTSブロックトレーニングに参加した年代別優秀選手の体力値平均が「レベル4」に相当。

表1 男子ジュニア選手の体力レベル表 (n=1588より算出)

	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U13男子	Lv.1	35	151.9	5.17	185.1	1.14	21.8	18.54
Lv.2		40	156.2	5.00	195.1	1.20	24.4	18.06	3.98
Lv.3		45	160.4	4.82	205.2	1.25	27.1	17.58	3.83
Lv.4		50	164.6	4.65	215.2	1.31	29.7	17.10	3.67
Lv.5		55	168.8	4.48	225.3	1.36	32.3	16.61	3.52
Lv.6		60	173.1	4.31	235.3	1.42	35.0	16.13	3.36
Lv.7		65	177.3	4.14	245.4	1.48	37.6	15.65	3.21
Lv.8		70	181.5	3.96	255.4	1.53	40.3	15.17	3.05
Lv.9		75	185.7	3.79	265.5	1.59	42.9	14.69	2.90
Lv.10		80	190.0	3.62	275.5	1.65	45.5	14.21	2.74
	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U16男子	Lv.1	35	168.8	4.65	212.0	1.18	28.3	17.67
Lv.2		40	171.6	4.54	221.1	1.24	30.9	17.24	4.00
Lv.3		45	174.4	4.42	230.2	1.30	33.6	16.81	3.90
Lv.4		50	177.2	4.31	239.2	1.35	36.2	16.38	3.81
Lv.5		55	180.0	4.19	248.3	1.41	38.8	15.95	3.71
Lv.6		60	182.8	4.08	257.4	1.46	41.4	15.53	3.62
Lv.7		65	185.7	3.96	266.5	1.52	44.0	15.10	3.52
Lv.8		70	188.5	3.85	275.5	1.58	46.6	14.67	3.43
Lv.9		75	191.3	3.73	284.6	1.63	49.3	14.24	3.33
Lv.10		80	194.1	3.61	293.7	1.69	51.9	13.81	3.23

表2 女子ジュニア選手の体力レベル表 (n=1494より算出)

	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U13女子	Lv.1	35	150.1	5.37	172.3	1.09	17.2	19.38
Lv.2		40	152.9	5.22	179.4	1.13	18.9	18.94	3.85
Lv.3		45	155.7	5.07	186.6	1.18	20.6	18.50	3.77
Lv.4		50	158.5	4.91	193.7	1.22	22.3	18.06	3.68
Lv.5		55	161.3	4.76	200.8	1.27	24.0	17.62	3.60
Lv.6		60	164.1	4.61	208.0	1.31	25.7	17.17	3.51
Lv.7		65	166.9	4.46	215.1	1.36	27.4	16.73	3.43
Lv.8		70	169.7	4.30	222.2	1.40	29.1	16.29	3.34
Lv.9		75	172.5	4.15	229.4	1.45	30.9	15.85	3.26
Lv.10		80	175.3	4.00	236.5	1.49	32.6	15.41	3.17
	体力レベル	偏差値	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
	U16女子	Lv.1	35	155.0	5.32	168.8	1.03	19.5	19.43
Lv.2		40	157.7	5.15	178.2	1.09	21.4	18.89	3.90
Lv.3		45	160.4	4.99	187.5	1.15	23.2	18.35	3.80
Lv.4		50	163.1	4.82	196.9	1.21	25.1	17.81	3.70
Lv.5		55	165.8	4.66	206.2	1.27	27.0	17.27	3.60
Lv.6		60	168.5	4.49	215.6	1.33	28.9	16.73	3.50
Lv.7		65	171.3	4.33	224.9	1.39	30.7	16.20	3.40
Lv.8		70	174.0	4.16	234.3	1.45	32.6	15.66	3.29
Lv.9		75	176.7	3.99	243.6	1.51	34.5	15.12	3.19
Lv.10		80	179.4	3.83	253.0	1.56	36.4	14.58	3.09

①2023年度ジャパンライジングスタープロジェクトにおける体力向上事業；

競技転向型のタレント選手（6期生 n=5）の体力向上事業は、専門測定会から検証合宿まで1年間にわたって実施された。対象が中学生年代の女子選手であったことから、ハンドボール基礎技術トレーニングと併行して体力トレーニング指導も実施され、本委員会による継続的な体力測定評価が実施された。

表3 J-Star プロジェクトに参加したU16選手の体力値（過去6年間）

	身長 cm	体重 kg	30m sec.	立幅跳 cm	J/H比	立投球(2号) m	イリノイ走 sec.	I/S比	コートシャトル sec.
1期生	162.04	53.69	5.00	209.71	1.29	25.33	17.70	3.54	67.64
2期生	166.00	52.75	4.52	217.60	1.31	26.50	16.75	3.71	63.43
3期生	165.24	56.20	4.73	217.00	1.31	23.00	17.62	3.73	65.38
4期生	169.50	58.50	4.34	230.00	1.36	24.23	16.75	3.86	61.33
5期生	166.65	55.60	4.62	221.00	1.33	24.40	16.85	3.65	60.25
6期生	165.46	58.94	4.66	216.80	1.31	26.92	17.0	3.64	64.20

表4 6期生の体力改善率（専門測定データと最終測定データの相対的変化）

変化量(%) 専測⇒最終	身長	体重	30m	立幅跳	スロー m		イリノイ走
					座位	立位	
A	101.3	108.3	102.3	106.4	132.4	121.6	103.4
B	103.6	112.1	103.2	105.9	118.9	117.5	106.1
C	102.4	112.8	104.2	101.5	126.6	114.6	102.0
D	100.1	103.6	98.3	95.0	132.8	141.6	103.9
E	100.9	101.9	99.6	98.6	114.1	127.3	102.6
<b>改善率</b>	<b>101.7</b>	<b>107.7</b>	<b>101.5</b>	<b>101.5</b>	<b>125.0</b>	<b>124.5</b>	<b>103.6</b>

変化量(%) 専測⇒最終	Cシャトル		握力(右)	握力(左)	筋肉量	体脂肪率
	1本目	2本目				
A	98.4	98.5			108.0	98.2
B	100.0	98.5			110.9	94.1
C	92.4	96.2			109.2	82.8
D	106.2	125.0	110.8	110.2		
E	96.9	98.6	119.0	109.3		
<b>改善率</b>	<b>98.8</b>	<b>103.3</b>	<b>114.9</b>	<b>109.8</b>	<b>109.4</b>	<b>91.7</b>

②2023年度 NTS センタートレーニング及び NTA(アカデミー)トレーニング

- 本委員会ではこれまで指導・育成・普及委員会の NTS・NTA 担当者と連携し、NTS全国ブロックトレーニング、NTSセンタートレーニング、NTAアカデミートレーニング時に体力測定会を行っており、本委員会の中心的な実地事業となっている。今年度測定は、NTSセンタートレーニング（男子 n=30、女子 n=29）及び、NTAアカデミートレーニング（男子 n=17、女子 n=16）における体力測定であった。選手選考には本委員会で作成された2027年～2022年までの蓄積データから算出された体力レベル基準（表1、2）が活用された。NTSセンタートレーニング参加者では、男女とも身長はレベル3、体力項目はすべてレベル4であった。一方、アカデミー参加者は、男子・身長はレベル5、体力項目はレベル4から5であった。女子・身長はレベル4、体力項目はレベル5から7と高いものであった。

表5 NTSセンタートレーニング (CTR) NTA (アカデミー) に参加した選手の体力値

カテゴリー	身長cm	30m走sec.	立幅跳cm	J/H比	立投球m	イリノイ走sec.	I/S比
CTR23男子	174.5	4.26	243.1	1.39	38.7	16.23	3.82
CTR23女子	161.7	4.74	202.3	1.25	26.9	17.22	3.64
NTA23U16男子	181.1	4.31	251.4	1.39	39.3	15.66	3.64
NTA23U16女子	163.5	4.48	209.4	1.28	28.8	16.16	3.61

(2) 海外体力分析評価事業；

- 委員会内に設置された「海外分析プロジェクト」チームによって、主に欧州プレーヤーをターゲットにした体力分析（形態・基礎体力・その他特異的体力など）が行われている。その方法は、各国・各競技団体・各チーム・研究者から公に報告された文書・データ、または提供を受けた文書・データをレビューし、纏めていくものである。2023年度は、第28回男子世界選手権（ポーランド、スウェーデン開催）オフィシャルデータを加えて、世界トップチームと日本男子チームの体格（身長・体重）の違いについて検討した。表6・7に示されているように、世界トップ4に比べると日本チームの身長・体重は未だ劣っている。特にバックプレーヤーとゴールキーパーの世界との体格差は、統計学的に有意な相違であった。

表6 男子世界選手権（2023）に出場した選手の体格・「身長について」

Main Position	All			Best 8			Best 4			JPN		
	n	value	SD	n	value	SD	n	value	SD	n	value	SD
Centre Back	148	186.68 ± 5.84 *		37	189.32 ± 3.96 **		16	189.81 ± 2.95 **		2	177.00 ± 7.07	
Right Back	142	190.57 ± 5.95 **		40	193.15 ± 4.52 **		17	193.41 ± 3.97 **		3	180.33 ± 2.52	
Left Back	188	193.07 ± 6.36		43	196.07 ± 4.10 **		24	196.33 ± 3.62 **		5	187.60 ± 5.77	
Pivot	174	193.57 ± 6.29		48	195.65 ± 5.25		25	197.56 ± 3.72 *		3	192.33 ± 4.04	
Right Wing	136	183.82 ± 5.88		34	185.53 ± 6.29		20	186.80 ± 5.73 *		2	177.50 ± 6.36	
Left Wing	138	184.69 ± 6.43		38	187.66 ± 7.47		18	188.61 ± 7.55		2	185.00 ± 11.31	
Goalkeeper	156	191.77 ± 5.80		39	194.49 ± 4.97 *		20	194.20 ± 5.39 *		3	187.33 ± 4.04	
Specialist	10	183.40 ± 5.72		0			0			0		
Average	1092	189.47 ± 7.14 **		279	192.03 ± 6.48 **		140	192.79 ± 6.15 **		20	184.85 ± 7.06	

\*:p<0.05, \*\*:p<0.01, vs JPN

表7 男子世界選手権（2023）に出場した選手の体格・「体重について」

Main Position	All			Best 8			Best 4			JPN		
	n	value	SD	n	value	SD	n	value	SD	n	value	SD
Centre Back	148	87.18 ± 8.13		37	90.14 ± 7.02		16	92.81 ± 5.47 *		2	80.00 ± 14.14	
Right Back	142	92.07 ± 8.04		40	94.68 ± 6.46 *		17	95.00 ± 6.62 *		3	85.00 ± 7.00	
Left Back	188	95.13 ± 8.75		43	97.28 ± 6.29		24	98.58 ± 5.39 *		5	91.40 ± 7.64	
Pivot	174	101.74 ± 10.44		48	103.31 ± 8.65		25	106.24 ± 7.45		3	100.67 ± 6.35	
Right Wing	136	81.97 ± 6.96		34	84.53 ± 6.40		20	86.35 ± 5.83		2	82.50 ± 0.71	
Left Wing	138	83.53 ± 7.32		38	85.74 ± 8.82		18	87.83 ± 9.13		2	86.50 ± 9.19	
Goalkeeper	156	95.52 ± 10.08		39	97.54 ± 7.57 *		20	96.90 ± 8.38 *		3	85.67 ± 3.06	
Specialist	10	86.50 ± 7.59		0			0			0		
Average	1092	91.56 ± 10.90		279	93.89 ± 9.72 *		140	95.49 ± 9.50 **		20	88.45 ± 8.85	

\*:p<0.05, \*\*:p<0.01, vs JPN

## 8) 医事活動（メディカルサポート委員会・医事専門委員会）

### (1) 委員会（4回/年以上）

- ・ Web, メールなどを介してメディカルサポート委員会会議を行った。18名参加
- ・ 日本ハンドボールリーグ（以下、JHL）でのドクター配置について検討した。
- ① JHAホームページに脳震盪や外傷障害の広報工夫拡充について議論し、JHAホームページを更改した。
- ② JHLの拡充に向けて、日本全国でのJHL開催に対応できるようにメディカルサポート委員会メンバー拡充していくこととなった。正会員・準会員などによる構成員の広域化、多様性を推進する。
- ③ アンチ・ドーピング教育について従来通りに行っていくことを確認した。
- ④ コロナ感染について、国の指針通り5類のカテゴリーに沿って対応していくことを確認した。
- ⑤ 医薬品の取り扱いについては現状通り、遠征時には帯同ドクターが準備することとなった。
- ⑥ 海外並びに国内帯同ドクターの帯同報告ならびに当該年度のドクター選定を行った。また、世界ドーピング防止機構（以下、WADA）codeの規程改定の確認を行った。

### (2) 帯同ドクターの派遣

男女日本代表、男子ジュニア・ユース、女子ジュニア・ユースチームにおける国内および海外遠征にドクターを派遣した。（アンチ・ドーピング研修実施）

#### ① 男子代表

- ・ 国内強化合宿ならびに4月チュニジア遠征、9月アジア大会（中国）、10月パリオリンピック予選（カタール）、2024年1月アジア選手権（バーレーン）

#### ② 女子代表

- ・ 国内強化合宿（日本各地）ならびに8月パリオリンピック予選（広島）、9月アジア大会（中国）、11月世界選手権（デンマーク等）、2024年4月パリオリンピック世界最終予選（ハンガリー）

#### ③ 男子U-21

- ・ 国内強化合宿ならびに6月世界選手権（ドイツ）

#### ④ 女子U-20

- ・ 国内強化合宿ならびに6月アジア選手権（香港）

#### ⑤ 男子U-19

- ・ 国内強化合宿ならびに8月世界選手権（クロアチア）

⑥女子U-18

- ・国内強化合宿ならびに7月アジア選手権（インド）

(3) 全日本ビーチ選手権、日本選手権、JHLプレーオフ会場にドクターを派遣  
J-STARの事業にドクターを派遣

(4) メディカルチェック事業

各カテゴリー代表チームに帯同したドクターによるメディカルチェックを適宜実施した。

- ①NTCでの合宿やオンラインにて管理栄養士による栄養指導を実施した。NTC外での合宿については、管理栄養士による食事メニューを提供し、食育活動を行った。
- ②公益財団法人日本スポーツ協会（以下、JSP0）の公認資格「スポーツドクター」の受講者推薦を行った。
- ③NTS発掘育成事業にドクターを派遣した。（アンチ・ドーピング研修実施）
- ④安全管理 コロナからインフルエンザ感染症までの検査ならびに感染防止対策を行った。

9) トレーナーの活動（メディカルサポート委員会・トレーナー専門委員会）

(1) トレーナー派遣

男女日本代表、男子U-21、U-19、女子U-20、U-18 チームにおける国内および海外遠征にトレーナーを帯同させ、連携を図った。

①男子代表 帯同トレーナー 2名

- ・第1回海外遠征 4月24日～4月28日（NTC）
- ・第1回強化合宿 5月15日～5月20日（NTC）
- ・第2回強化合宿 6月19日～6月24日（NTC）
- ・第3回強化合宿 8月1日～8月3日（NTC）
- ・第4回強化合宿 9月11日～9月19日（NTC）
- ・アジア競技大会 9月24日～10月5日（中国・杭州）
- ・第5回強化合宿 10月9日～10月15日（NTC）
- ・パリ2024オリンピック男子アジア予選 10月18日～10月28日（カタール）
- ・第6回強化合宿 12月26日～1月2日（埼玉）
- ・第2回海外遠征 1月3日～1月8日（スウェーデン）
- ・アジア選手権 1月11日～1月25日（バーレーン）
- ・第3回海外遠征 3月10日～3月18日（フランス）

②女子代表 帯同トレーナー 2名

- ・第1回強化合宿 4月9日～4月16日（NTC）
- ・第2回強化合宿 4月23日～5月5日（福岡・大分）
- ・第3回強化合宿 5月17日～5月24日（山口・香川）
- ・第4回強化合宿 7月7日～7月16日（沖縄・NTC）
- ・第1回欧州遠征 7月16日～7月31日（ハンガリー）
- ・第6回強化合宿 8月1日～8月11日（NTC）
- ・パリ2024オリンピック女子アジア予選 8月17日～23日（広島）
- ・第7回強化合宿 9月7日～9月20日（大阪・NTC）
- ・アジア競技大会 9月24日～10月5日（中国・杭州）
- ・第8回強化合宿 11月12日～11月20日（京都・NTC）
- ・第2回欧州遠征 11月21日～11月28日（スペイン）
- ・女子世界選手権 11月29日～12月17日（デンマーク）
- ・第9回強化合宿 1月7日～1月11日（大阪）
- ・第3回欧州遠征 2月26日～3月5日（ポルトガル）
- ・第10回強化合宿 3月14日～4月2日（福井・石川・佐賀・NTC）

③男子ジュニア 帯同トレーナー 1名

- ・第1回強化合宿 5月31日～6月7日（愛知・富山）
- ・第2回強化合宿 6月11日～6月13日（NTC）
- ・男子ジュニア世界選手権 6月20日～7月2日（ドイツ・ギリシャ）

④男子ユース 帯同トレーナー 1名

- ・第1回強化合宿 4月3日～4月7日（NTC）
- ・第1回オンライン合宿 5月13日～5月14日（オンライン）

- ・ 第2回強化合宿 6月19日～6月21日 (NTC)
- ・ 第2回オンライン合宿 7月8日～7月9日 (オンライン)
- ・ 第3回強化合宿 7月18日～7月23日 (オンライン)
- ・ 男子ユース世界選手権 8月2日～8月13日 (クロアチア)

⑤ 女子ジュニア 帯同トレーナー 1名

- ・ 第1回強化合宿 5月9日～11日 (NTC)
- ・ 第2回強化合宿 6月13日～6月15日 (NTC)
- ・ 第3回強化合宿 6月25日～6月28日 (NTC)
- ・ 女子ジュニアアジア選手権 6月30日～7月9日 (香港)

⑥ 女子ユース 帯同トレーナー 1名

- ・ 第1回強化合宿 5月9日～5月11日 (石川)
- ・ 第1回オンライン合宿 6月11日 (オンライン)
- ・ 第2回強化合宿 6月27日～6月29日 (NTC)
- ・ 第3回強化合宿 7月10日～7月13日 (NTC)
- ・ 女子ユースアジア選手権 7月15日～7月24日 (インド)

⑦ NTS 帯同トレーナー 2名

- ・ 第1回センタートレーニング 11月24日～26日 (中部大学)
- ・ 第2回センタートレーニング 1月6日～8日 (中部大学)

⑧ NTA帯同トレーナー 6名

- ・ 第1回集合合宿 9月16日～18日 (中部大学)
- ・ 第2回集合合宿 11月3日～5日 (中部大学)
- ・ 第3回集合合宿 2月10日～12日 (中部大学)

⑨ J-STAR 帯同トレーナー 3名

- ・ 第1回タレント検証合宿 6月23日～25日 (仙台大学)
- ・ 第2回タレント検証合宿 8月21日～23日 (NTC)
- ・ 第3回タレント検証合宿 10月13日～15日 (中部大学)
- ・ 第4回タレント検証合宿 11月17日～19日 (福岡大学)
- ・ 第5回タレント検証合宿 12月26日～28日 (東京理科大学)
- ・ 第7期西日本地区リージョンチェック 1月20日～21日 (中京大学)

(2) 全日本学生選手権トレーナーブース設置

11月4日から8日まで函館にて開催された全日本学生ハンドボール選手権大会において3会場にてトレーナーブースを設置し会場の安全対策や選手・スタッフ・審判へのメディカルサポートを実施。

(3) 定例委員会

2024年3月23日NTCにてトレーナー専門委員会ブロック委員 (10名) により昨年度の年間活動報告と活動計画を策定・実施した。

(4) 第1回資格認定制度の実施

トレーナー専門委員会内での代表トレーナーなどの技術知識向上を目的とした資格認定制度第1回 (トライアル) を2024年3月23日NTCにてブロック委員会メンバー10名と講師1名にて実施した。

(5) トレーナー専門委員会総会

2024年3月24日NTCにて実施 約50名参加

- ・ トレーナー専門委員会活動の概要説明
- ・ 全日本学生選手権活動報告
- ・ 男女日本代表の活動報告
- ・ 外から見たトレーナー像について
- ・ 他競技 (プロ野球) における投球前後の肩への評価
- ・ 投球動作における肩関節の機能解剖と投球障害肩について
- ・ ハンドボール投球動作プログラム「Throw7」について
- ・ パネルディスカッション～投球動作プログラムとパフォーマンス・今後の取り組み

(6) JSP0公認アスレティックトレーナー

受講者推薦やATの役割、活動、今後の運用について打ち合わせを実施した。

(7) 会員登録システム「MY HANDBALL」によるトレーナー専門委員会員の登録

トレーナー専門委員会会員のMY HANDBALL登録移行手続きを行なった。

## 2. 育成に関する事業

### 競技者の育成

#### <発掘育成委員会>

実施時期	概要	場所
2023/5/17	第1回会議	Web会議

#### 《NTS専門委員会》

##### (1) ナショナルトレーニングシステム (NTS)

実施時期	概要	場所
2023/4/19	第1回運営会議	Web会議
6/30~9/3	チャレンジトレーニング (U-16) 合計83名 U-16男子 49名 U-16女子 34名	Web
11/24~26	センタートレーニング (U-15) 合計82名 スタッフ25名 U-15男子 28名 U-15女子 29名	中部大学
11/30	第2回運営会議	Web会議
2024/1/6 ~8	センタートレーニング (U-15) 合計79名 スタッフ25名 U-15男子 29名 U-15女子 25名	中部大学

#### 《NTA専門委員会》

##### (1) ナショナルトレーニングアカデミー (NTA) リモートトレーニング

実施時期	概要	場所
2023/5/29	第1回リモートトレーニング NTAとは・男女別基礎TR・GK指導	Web会議
6/19	第2回リモートトレーニング 食育・BASIC7・男女別基礎TR・GK指導	Web会議
9/11	第3回リモートトレーニング メディカルケア・ジュニアカテゴリーのスタッフより講話・GK指導	Web会議
10/2	第4回リモートトレーニング 食育・フィジカルトレーニング・ユースカテゴリーのスタッフより講話・GK指導	Web会議
11/6	第5回リモートトレーニング 海外で活躍している選手より講話・GK指導	Web会議
12/4	第6回リモートトレーニング 食育・メディカルケア・委員長(嘉数)より講話・GK指導	Web会議
2024/2/5	第7回リモートトレーニング 海外で活躍している選手より講話・GK指導	Web会議
3/4	第8回リモートトレーニング 食育・BASIC7・ふりかえり・男女別TR・GK指導	Web会議

##### (2) ナショナルトレーニングアカデミー (NTA) 育成合宿

実施時期	概要	場所
2023/9/16 ~18	第1回育成合宿 合計47名 スタッフ15名 男子16名 女子16名	中部大学
11/3~5	第2回育成合宿 合計46名 スタッフ15名 男子16名 女子15名	NTC
2024/2/10 ~12	第3回育成合宿 合計49名 スタッフ19名 男子16名 女子14名	中部大学

##### (3) 合同トレーニング・トレーニングマッチ

2/10~12 場所：中部大学

育成合宿に中部大学男子・中京大学女子をトレーニングパートナーとして招聘し、合同トレーニング及びトレーニングマッチを実施。

《J-STAR 専門委員会》

(1) 競技転向型タレント検証事業

①タレント検証会議

実施時期	事業名	実施場所	概要
2023/5/15	第 1 回タレント検証会議	W e b 会議	委員/参加者人数 5 名、事務局 1 名
8/21	第 2 回タレント検証会議	W e b 会議	委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名
11/18	第 3 回タレント検証会議	W e b 会議	委員/参加者人数 7 名、事務局 1 名
2024/3/12	第 4 回タレント検証会議	W e b 会議	委員/参加者人数 9 名、事務局 1 名

②タレント検証合宿

実施時期	事業名	実施場所	参加者		
			スタッフ	選手	合計
2023/6/23～25	第 1 回 タレント検証合宿	仙台大学	4 名	5 名	9 名
8/22～24	第 2 回 タレント検証合宿	東京理科大学	4 名	5 名	9 名
10/13～15	第 3 回 タレント検証合宿	札幌国際大学	4 名	5 名	9 名
11/17～19	第 4 回 タレント検証合宿	中京大学	4 名	5 名	9 名
12/26～28	第 5 回 タレント検証合宿	東京理科大学	4 名	5 名	9 名

③オンライントレーニング

実施時期	事業名	実施場所	参加者		
			スタッフ	選手	合計
2023/5/15	第 1 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (6 期生)	W e b	3 名	2 名	5 名
5/22	第 1 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期生)	W e b	3 名	3 名	6 名
6/11	第 2 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期生)	W e b	3 名	3 名	6 名
6/19	第 2 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (6 期生)	W e b	3 名	2 名	5 名
7/10	第 3 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期/6 期生)	W e b	1 名	3 名	4 名
8/7	第 4 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期/6 期生)	W e b	1 名	2 名	3 名
9/11	第 5 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (6 期生)	W e b	1 名	2 名	3 名
9/17	第 5 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期生)	W e b	1 名	3 名	4 名
10/2	第 6 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (6 期生)	W e b	1 名	2 名	3 名
10/22	第 6 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期生)	W e b	1 名	3 名	4 名
11/6	第 7 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (6 期生)	W e b	1 名	2 名	3 名
12/3	第 7 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5 期生)	W e b	1 名	4 名	5 名
12/4	第 8 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (6 期生)	W e b	1 名	2 名	3 名

12/10	第 8 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5期生)	Web	1名	3名	4名
2024/1/15	第 9 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5期/6期生)	Web	1名	5名	6名
2/19	第 10 回 タレント検証のためのオンライントレーニング (5期/6期生)	Web	1名	5名	6名

(2) ジャパン・ライジング・スター・プロジェクト (J-STAR プロジェクト)

① 実行委員会

実施時期	事業名	実施場所	概要
2023/12/19	第 1 回 J-STAR プロジェクト実行委員会	Web	委員/参加者人数 9 名、事務局 1 名
2024/3/12	第 2 回 J-STAR プロジェクト実行委員会	Web	委員/参加者人数 9 名、事務局 1 名

② リージョンチェック

実施時期	事業名	実施場所	参加者		
			スタッフ	選手	合計
2023/12/28～29	東日本地区リージョンチェック	東京理科大学	6名	2名	8名
2024/1/20～21	西日本地区リージョンチェック	中京大学	6名	5名	11名

指導者の育成 (指導普及本部)

<指導部>

(1) 公認コーチ養成講習会専門科目講習会

① コーチ 3

期日：6月23日～25日 場所：愛知県 中京大学 受講者数：42名 (合格者数 42名)

期日：2月16日～18日 場所：千葉県 東京理科大学 受講者数：50名 (合格者数 50名)

② スタートコーチ

期日：6月11日～1月28日 場所：全国 37 会場 総受講者：941名 (合格者数 941名)

(2) 公認コーチ 3 養成講習会免除適応コース専門科目検定試験

期日：2月3日～4日 場所：大阪府 大阪体育大学 受講者数：36名 (合格者数 36名)

(3) 全国指導委員長ミーティング

期日：2月26日, 27日, 28日 場所：Web 会議 受講者数：48名

### 3. 審判に関する事業（審判本部）

#### 1) 主な事業

（敬称略）

開催日・期間	事業名	委員会等	開催地	概要および実績
4/ 1	MY HANDBALLによる新資格 * 登録開始 （※ 新資格：インドア、ビーチ、テクニカルオフィシャル、審判指導員）			
4/16	第1回審判委員会合同会	審	リモート	<出席者>競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容/2023年度 事業等の確認 等
4/23、30 5/14、21	東地区A級審査会	査	埼玉県	受験者 19名、審査員 3名 @関東学生春季 リーグ戦男子2部 (駿河台大学体育館)
5/ 5～ 7	レフェリーアカデミー (@東海学生春季リーグ戦)	ア	愛知県	受講者 9名、指導者 5名 @名古屋市スポーツセンター、中部大学体育館
5/ 6～ 7	中地区A級審査会	査	京都府	受験者 22名（うち女性2名）、審査員 4名 @関西学生ハンドボールリーグ春季リーグ戦 (太陽が丘体育館)
5/13～14	西地区A級審査会	査	宮崎県	受験者 12名（うち女性2名）、審査員 4名 @九州一般ハンドボール選手権大会、 九州女子クラブハンドボール選手権大会
5/27～28	北海道ブロックB級審査会	査	北海道	受験者 4名、審査員 2名 @北海道春季学生リーグ
5/27～28	北信越ブロックB級審査会	査	長野県	受験者 4名、審査員 2名 @北信越学生春季リーグ戦
6/ 1～10	第25回男子クラブリーグ アジア選手権	★	イラン ・エスファハン	レフェリー：1ペア TD：1名 を派遣
6/ 7～ 9	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣（全日本社会人選手権）	ル 指	福井県	競技規則研究委員および審判指導委員2名を派遣
6/10～11	東北ブロックB級審査会	査	山形県	受験者 6名（うち女性1名）、審査員 2名 @東北クラブ選手権大会・ジャパンオープン 東北予選会
6/17～18	東海ブロックB級審査会	査	愛知県	受験者 12名、審査員 4名 @ジャパンオープン東海予選会・東海クラブ選手権大会
6/18	第2回審判委員会合同会	審	リモート	<出席者>競技本部長、審判本部長、各専門委員会委員長、ブロック審判長、連盟審判長 他 内容/各専門委員会報告、新規施行に伴う各種 確認 等
6/23～25	関東ブロックB級審査会	査	神奈川県	受験者 15名、審査員 4名 @関東社会人・クラブ選手権大会
6/24～25	近畿ブロックB級審査会	査	和歌山県	受験者 7名、審査員 4名 @ジャパンオープントーナメント近畿予選
6/24～25	第1回日本リーグ担当 レフェリー研修会	J	東京都	<講師>JHL審判委員会委員長、 JHLチームアナリスト <受講者>日本リーグ担当レフェリー ※ 内容は後日、全関係者に映像共有済
7/ 1～ 2	九州ブロックB級審査会	査	山口県	受験者 17名（うち女性4名）、審査員 4名 @第43回全国クラブ選手権大会・西地区大会
7/ 9	第1回全日本大会派遣委員連絡会	ル 指	リモート	<出席者>競技本部長、審判本部長、両専門委員会委員（委員長、連盟派遣委員、サポートスタッフ） 内容/全日本大会派遣に関する内容共有について
7/25～27	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣（全国高校総体）	ル 指	北海道	競技規則研究委員および審判指導委員 を派遣

7/31 8/ 2	パリ・サン＝ジェルマン ハンドボールジャパンツアー2023	★	東京都・ 江東区	レフェリー：3名を派遣
8/ 2～13	第10回男子ユース世界選手権	★	クロアチア ・ヴァズ デレ他	レフェリー：1ペア をGRTP受験と合わせて派遣
8/2～ 4	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣（全国小学生）	ル 指	京都府	競技規則研究委員および審判指導委員 を派遣
8/3～ 5	レフェリーアカデミー （全国中学生クラブカップ）	ア	埼玉県	受講者 9名、指導者 3名 @サイデン化学アリーナ（さいたま市記念総合体育館）
8/17～23	パリ2024オリンピック 女子アジア予選	★	広島県・ 広島市	レフェリー：1ペア TD：1名 を派遣 国内技術役員として：4名 を派遣
8/20～22	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣（全国中学校大会）	ル 指	徳島県	競技規則研究委員：および審判指導委員 を派遣
9/ 1	新規施行日			
9/ 4	新規施行に伴う新規登録者向け 認定研修会配信開始	ル 指 T	オンデ マンド 配信	インドア（テクニカルオフィシャル、審判指導員） ビーチ（審判員兼テクニカルオフィシャル） が受講対象
9/ 8～ 9	ビーチハンドボール 審判・TO講習会	ビ	愛知県 碧南市	全日本ビーチ選手権に合わせて開催
9/16	テクニカルオフィシャル 専門委員会	T	リモート	<出席者>審判本部長兼TO専門委員会委員長、サポート スタッフ（各ブロック派遣）、（必要に応 じて）各連盟担当者
9/23～24	中四国ブロックB級審査会	査	島根県 松江市	受験者 10名（うち女性1名）、審査員 4名 @中四国学生秋季リーグ
9/24～ 10/ 5	第19回アジア競技大会	★	中国・ 杭州	レフェリー：1ペア TD：1名 を派遣
10/ 1	審判指導専門委員会	指	リモート	<参加者>審判指導専門委員会委員
10/7～12	特別国民体育大会	T	鹿児島県 霧島市	TO：1名 を派遣 （中央競技団体派遣として）
10/14	ブロック・連盟 審判指導専門委員会	指	リモート	<参加者>審判指導専門委員会委員 （ブロック、連盟含）
10/14～21	IHF トロフィー （オセアニア地区）	★	ニューカレ ドニア ・ヌメア	PRC Lecturer、TD：として審判本部長 を派遣
10/20～22	レフェリーアカデミー （@サニックスカップ）	ア	福岡県 宗像市	受講者 8名、指導者 4名 @グローバルアリーナ、鞍手町立体育館
10/18～28	パリ2024オリンピック 男子アジア予選	★	カタール・ ドーハ	TD：1名 を派遣
10/28	全国審判指導担当者会議	指	リモート	<出席者>審判本部長、審判指導専門委員会委員長、 審判指導委員会委員、各都道府県審判指導 担当者
11/ 3～ 5	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣（全日本学生）	ル 指	北海道 函館市	競技規則研究委員および審判指導委員 を派遣
11/ 3～ 8	審判本部長視察（全日本学生）	審	北海道 函館市	審判本部長が視察（兼テクニカルオフィシャル） として参加
11/17～27	第26回男子クラブリーグ アジア選手権	★	クウェート	レフェリー：1ペア TD：1名 を派遣
11/25	第2回全日本大会 派遣委員連絡会	ル	メール 会議	文章にて各連盟審判長および派遣員へ 提案・依頼
12/9～10	審判指導専門委員会	指	日本協会 事務局	<参加者>審判指導専門委員会委員

12/13～17	トップレフェリー研修会 (男子大会担当審判員)	審 指	宮城県 仙台市	<参加者>Ramón Gallego氏、競技本部長、審判本部長、 大会担当審判員(8ペア16名)、大会担当TO 他
12/14～17	本部長ヒアリング	審	宮城県 仙台市	<出席者>：競技・審判本部長、各専門委員会委員長、 各サポートスタッフ 内容/各専門委員会本年度活動内容およびR6年度に 向けた活動内容 他
12/16	第2回審判専門委員会	審	宮城県 仙台市	<出席者>：審判本部長、各専門委員会委員長 内容/合同委員会議題確認
12/16～17	レフェリーシンポジウム2023	審	宮城県 仙台市	<参加者>Ramón Gallego氏、競技本部長、審判本部長、 一般申込79名、関係者72名 (各数値：延べ人数、重複者あり)
12/16～17	専門委員会	ル 指	宮城県 仙台市	<参加者>競技規則研究専門委員会委員、審判指導専 門委員会委員 ※ 専門委員会ごとに実施
12/15～17	レフェリーアカデミー (@日本選手権 男子の部)	ア	宮城県 仙台市	受講者 7名 ※ 国際審判員養成プログラムとして 実施(JOC助成金事業) @カメイアリーナ仙台(仙台市体育館)
12/24～28	トップレフェリー研修会 (女子大会担当審判員)	審	岩手県 花巻市	<参加者>競技本部長、審判本部長、大会担当審判員 (8ペア16名)、大会担当TO 他
2024年 1/11～25	第21回男子アジア選手権	★	バーレーン ・マム他	レフェリー：1ペア TD：1名 を派遣
1/27～28	審判本部合同委員会	審	東京都	競技・審判本部長・各専門委員会委員長・ブロック 審判長・連盟審判長・審判総務委員 他
2/9～11	レフェリーアカデミー (@全日本社会人チャレンジ2024)	ア	福井県 永平寺町	兼A級審査：4名 ※ 審判審査委員会より審査員を1名派遣
2月～3月	全日本大会担当審判員候補者 研修会	審 指 査	全国9 ブロック	各ブロックにて、ブロック審判長・ブロック審判 指導担当者・ブロック審査員にて実施
3/12	審査員連絡会	査	リモート	<出席者>委員会委員長、各ブロック審査員 R6年度に向けた会議
3/23	第2回競技規則研究専門委員会	ル	広島県	<出席者>委員会委員長、サポートスタッフ R6年度に向けたワーキンググループ会議
3/24	第4回審判専門委員会	審	リモート	<出席者>競技本部長、審判本部長、各専門委員会 委員長 他
3/23～25	競技規則研究委員・審判指導委員 派遣(全国高校選抜大会)	指	岐阜県・ 三重県	審判本部派遣：1名

審： 審判委員会

査： 審判審査専門委員会

指： 審判指導専門委員会

ア： レフェリーアカデミー(集合研修のみ記載)

ビ： ビーチハンドボール専門委員会

ル： 競技規則研究専門委員会

T： テクニカルオフィシャル専門委員会

J： 日本ハンドボールリーグ審判専門委員会

★： 国際大会

#### 【レフェリーコース】

近畿ブロック： <前期> 令和5年5月 3日(水祝)～5月 5日(金祝)

<後期> 令和5年9月16日(土)～ 18日(月祝)

※ 受験者 9名(うち女性2名)

@関西学生ハンドボールリーグ会場(大阪大学体育館)

2) その他の事業

- (1) 文書の発送受付ならびに各種登録、会場手配、交通費算出、マイハンド登録関係  
(審判総務専門委員会)
- (2) 研修用資料の企画・制作  
(審判指導専門委員会、競技規則研究専門委員会、ビーチハンドボール審判専門委員会、テクニカルオフィシャル専門委員会)
- (3) 各全日本大会における審判技術の実態把握  
(競技本部長、審判本部長、連盟審判長、ブロック審判長)
- (4) 国際情報収集と競技規則書（インドア、ビーチ）他解説書等の作成  
(競技規則研究専門委員会、視聴覚専門委員会、テクニカルオフィシャル専門委員会)
- (5) 他本部・委員会等との連携強化（競技本部長、審判本部長）

3) A/B級公認審判員審査結果

	2021(令和3)年度		2022(令和4)年度		2023(令和5)年度	
	A級	B級	A級	B級	A級	B級
審査申請者	46	83	63	107	56	77
書類不備	0	0	0	0	0	0
欠席	0	5	4	7	3	2
筆記試験不合格	2	10	9	13	9	14
実技試験不合格	28	10	20	8	17	7
体力試験不合格	体力試験実施なし		体力試験実施なし		体力試験実施なし	
合格者	17	58	30	79	27	54

4) 審判関係公認資格登録状況 ※ 各年度、右側枠内朱書き箇所は、全登録者数に対する女性審判員の登録者数

種別	級	2021(令和3)年度		2022(令和4)年度		2023(令和5)年度	
		登録者数	(女性)	登録者数	(女性)	登録者数	(女性)
インドアハンドボール	終身	61	2	61	2	109	5
	国際	13	1	11	1	11	1
	A級	310	17	335	19	332	21
	B級	429	31	458	33	488	32
	C級	707	106	786	111	732	109
	D級	1,339	306	1,560	353	1,705	371
	インドア審判員計	2,859	463	3,211	519	3,377	537
	B級TO					1,046	182
	TO計					1,046	182
	A級インストラクター※					167	4
	B級インストラクター※					46	2
	C級インストラクター					6	0
	インストラクター計					219	6
ビーチハンドボール	ビーチB級審判員兼TO					51	17
	ビーチ審判員計					51	17
	ビーチS級インストラクター					1	0
	ビーチインストラクター計					1	0

新規施行による新たな資格

※ 終身含む

#### 4. 競技普及に関する事業（指導普及本部）

##### 《学校体育専門委員会》

- (1) 学校体育専門委員会会議 計2回  
期日：12月1日 場所：石川県 小松市（※ ハンドボール研究集会時）  
期日：2月8日 場所：Web会議
- (2) 第25回ハンドボール研究集会  
期日：11月30日～12月1日 場所：石川県 小松市 受講者数：30名

##### 《マスターズ専門委員会》

- (1) 第31回全日本マスターズ大会（交流型，11人制）  
期日：5月26日～28日 場所：神奈川県藤沢市 参加者数 631名
- (2) 第7回全日本マスターズシニア大会  
期日：12月23日～24日 場所：沖縄県 浦添市 参加者数 156名
- (3) マスターズ専門委員会全国委員会 計2回  
期日：9月2日，3月23日 場所：Web会議
- (4) マスターズ専門委員会中央委員会 計6回  
期日：4月16日，6月4日，7月9日，10月22日，12月3日，1月21日  
場所：愛知県 ブラザー工業体育館会議室

##### 《デフハンドボール専門委員会》

- (1) 普及啓発活動
  - ① 第19回茨城県障がい者スポーツ研究会シンポジウム  
期日：12月10日 場所：筑波大学  
テーマ：聴覚障害者スポーツを通じた共生社会～茨城県からの発信～  
シンポジスト：専門委員会委員長
  - ② 千葉県聴覚障害者協会におけるデフハンドボール紹介  
期日：12月17日 場所：千葉県  
担当：専門委員1名
  - ③ チャレスポ！TOKYOへの出展  
期日：1月20日 場所：東京都 東京体育館  
主催：東京都障害者スポーツ協会  
担当：専門委員長、専門副委員長、専門委員2名、デフハンドボール選手1名
  - ④ 耳の日記念文化祭におけるハンドボール競技紹介と体験ブースの実施  
期日：2月25日 場所：東京都障害者福祉会館  
主催：東京都聴覚障害者連盟  
担当：専門委員会委員長、専門委員1名、デフハンドボール選手3名
  - ⑤ デフハンドボール体験会  
期日：2月10日 場所：茨城県 霞ヶ浦文化体育館  
（※ 日本ハンドボールリーグ開催時）
  - ⑥ デフハンドボール専門委員会の呼びかけによる練習会 計7日間  
期日：1月13日 場所：埼玉県 大崎電気体育館  
期日：1月14日 場所：茨城県 筑波技術大学  
期日：2月10日 場所：茨城県 霞ヶ浦文化体育館  
期日：2月11日～12日 場所：茨城県 筑波大学  
期日：3月2日 場所：筑波技術大学  
期日：3月3日 場所：茨城県 開智望小学校
- (2) 強化活動
  - ① 選手向け講習会  
期日：12月23日 場所：筑波技術大学  
担当：専門委員1名  
テーマ：ハンドボールにおける障害・外傷とその予防のためのトレーニング  
期日：1月13日 場所：埼玉県 大崎電気体育館  
講師：仲井健人氏（デフサッカー日本代表選手）

テーマ：日本代表選手の心得

② 体力測定

期日：3月16日 場所：筑波技術大学

担当：専門委員1名

(3) デフハンドボール専門委員会会議 計1回

期日：2月10日 場所：茨城県 霞ヶ浦文化体育会館

《小学生専門委員会》

(1) 全国小学生ハンドボール大会

期日：8月3日～6日 場所：京都府 京田辺市

(2) 全国U12指導者研修会（JSP0指導者資格更新研修）

期日：11月11日～12日 場所：東京都 NTC 受講者数：38名

事前検討会議 計5回

期日：5月8日，6月12日，7月24日，10月16日，10月22日 場所：Web会議

(3) 小学生専門委員会会議 計9回（うち1回は臨時会議）

期日：4月23日，5月21日，5月29日

（臨時），7月2日，8月2日，8月19日，10月9日，1月14日，3月31日

場所：Web会議（8月2日のみ対面とのハイブリッド会議 ※全国小学生大会時）

(4) 全国小学校大会あり方小委員会会議 計6回

期日：4月17日，5月29日，6月29日，9月1日，10月25日，12月7日 場所：Web会議

(5) Jクイックハンドボール再検討小委員会会議 計5回

期日：6月19日，9月5日，10月23日，12月11日，2月19日 場所：Web会議

(6) インテグリティ活動

① 事前会議

期日：5月22日 場所：Web会議

② 指導者向け指導指針資料の作成・展開

期日：5月22日～29日

展開：6月5日

③ 小学生活動満足度調査

調査期間：11月6日～2月29日

調査対象：全国の小学生ハンドボール選手および保護者

《中学生専門委員会》

(1) 全国大会

① 全国中学生クラブカップ2023

期日：8月4日～6日 場所：埼玉県 さいたま市

② 第32回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会

期日：12月24日～27日 場所：徳島県 徳島市

③ 第19回春の中学生ハンドボール選手権大会

期日：3月24日～27日 場所：福島県 福島市

(2) 中学生専門委員会会議 計3回

期日：8月19日 場所：徳島県 徳島市

期日：12月23日 場所：徳島県 徳島市

期日：3月25日 場所：福島県 福島市

(3) 中学生専門委員会クラブ部会会議

期日：8月4日 場所：埼玉県 さいたま市

## 5. 競技運営に関する事業（競技本部、大会運営委員会）

（総括）

2023年度はコロナ禍も過ぎ去り、同感染症も5類引き下げもあって、計画された大会（ジャパンオープントーナメント大会が台風接近で中止を除き）が2019年以前の形で実施された。競技・大会運営も大きな事故なく、審判本部、事務局、連盟、各都道府県協会の協力を得て実施できた。

主催大会の運営として、日本選手権男女とも協会事務局が主管し、実施した。開催地協会の協力を得ながらではあったが、経費節減には一定の効果が見られた。今後の協会運営、大会運営の試金石にもありうるが、集客や収益拡大には、開催時期、競技方法なども課題が出てきており、これらの解決のためには、競技本部のみならず、マーケティング、強化など協会を挙げての取り組みが必要であると考えられる。

### （1）国内で開催された主要大会の管理・運営・協力（斜体は国際大会）

月	大会名	開催日程	開催地	結果
5月	第31回全日本マスターズ大会 (交流型、11人制)	5/26-28	神奈川県・藤沢市	多くのチームが参加し、7人制、11人制とも盛大に実施された
6月	高松宮記念杯第11回全日本社会人選手権大会	6/7-11	福井県・福井市、永平寺町	【男子】1:トヨタ車体 2:豊田合成、3:トヨタ紡織九州 【女子】1:北國銀行 2:ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング 3:オムロン
7月	高松宮記念杯第74回全日本高校選手権大会	7/26-31	北海道・函館市	【男子】1:香川中央高 2:瓊浦高 3:岩国工業高、氷見高 【女子】1:白梅学園高 2:昭和学院高、3:洛北高、四日市商業高
8月	第36回全国小学生大会	8/3-6	京都府・京田辺市他	【男子】1:T-SQUARE 京都 2:HC 宮田 3:さいたま市ハンドボールクラブ、府中ハンドボールクラブ 【女子】1:富岡ラビッツ 2:リトル Sun's ハンドボールクラブ 3:美園 Jr. ハンドボールクラブ、豊福 WINS
	パリ2024オリンピック女子アジア予選 <i>Hiroshima JAPAN</i>	8/17-24	広島県・広島市	1:韓国 2:日本 3位:中国
	全国中学生クラブチームカップ2023	8/4-6	埼玉県・さいたま市	【男子】1:ブレスド名古屋 Jr. ハンドボールクラブ 2:ヴィアティン三重ハンドボールクラブ 3:クラウドセブン、ヴァルト岐阜 【女子】1:大崎ジュニアクラブ、2:ヴィアティン三重ハンドボールクラブ、3:HC 春吉 Jr.、大阪ラヴィッツみらい
	第28回ジャパンオープントーナメント	8/9-12	佐賀県・神埼市	台風接近のため中止とした
	第52回全国中学校大会	8/19-21	徳島県・徳島市	【男子】1:大阪体育大学浪商中 2:富岡市立南中、3:大分中、富谷市立成田中 【女子】1:宇土市立鶴城中 2:東久留米市立西中、3:氷見市立北部中、京田辺市立大住中
	令和5年度日韓中ジュニア交流競技会	8/24-29	和歌山県	【男子】1:日本 2:韓国 3:中国 【女子】1:韓国 2:日本 3:中国
9月	第49回全国高等専門学校選手権大会	8/31-9/4	東京都・八王子市	1:徳山工業高専 2:豊田工業高専 3:鹿児島工業高専、富山工業高専
	第25回全日本ビーチハンドボール選手権大会	9/9-10	愛知県・碧南市	【男子】1:BBJ、2:BUZZ、3:シースター東海 【女子】1:SWAG 2:Charlies 3:raccolta 大阪
10月	特別回国民体育大会	10/8-12	鹿児島県・霧島市	【成年男子】1:佐賀県 2:宮城県 3:愛知県 【成年女子】1:石川県 2:鹿児島県 3:富山県

				【少年男子】1:福井県 2:岡山県 3:香川県 【少年女子】1:千葉県 2:東京都 3:兵庫県
11月	文部科学大臣杯 第21回日本車椅子 競技大会	11/4-5	大阪府堺市	1:KnockoutSC 2:すわろ〜ずF 3:大阪体育大学APES-E ※競技の部Iのみ掲載
	高松宮記念杯男子第 66回女子第59回 全日本学生選手権	11/4-8	北海道・函館市	【男子】1:中央大学、2:筑波大学、 3:中部大学、大阪体育大学 【女子】1:大阪体育大学、2:筑波大学 3:東海大学、国土館大学
12月	第75回日本選手権 大会(男子の部)	12/13-17	宮城県・仙台市	1:豊田合成 2:トヨタ車体 3:トヨタ紡 織九州、ジークスター東京
	第7回全日本マスタ ーズシニア大会	12/23-24	沖縄県・浦添市	順位決定は行わず、交流戦を実施した
	第32回U-15ジュニ アセレクトカップハ ンドボール大会	12/24-27	徳島県・徳島市 鳴門市他	【男子】1:愛知県選抜、2:群馬県選 抜、3:大阪府選抜、沖縄県選抜 【女子】1:熊本県選抜、2:東京都選 抜、3:埼玉県選抜、大阪府選抜
12月	第75回日本選手権 大会(女子の部)	12/24-28	岩手県・花巻市	1:北國銀行、2:ソニー、3:イズミ、大阪 体育大学
2月	全日本社会人 チャレンジ2024	2/9-11	福井県・ 永平寺町	1:レグルスオオサカ 2:HC山口 3:ブレスド名古屋
3月	第47回全国高等学校 選抜大会 Presented by MIZUNO	3/24-29	男子: 岐阜県・岐阜市 女子: 三重県・津市	【男子】1:駿台甲府高 2:藤代紫水高 3:香川中央高、総社高 【女子】1:白梅学園高 2:昭和学院高 3:名古屋経済大学市邨高、神戸星城高
	第19回 春の全国中学生選手 権大会	3/24-27	福島県・ 福島市、 本宮市、郡山市	【男子】1:氷見市立西條中 2:東久留 米市立西中 3:HC京都、守谷市立けや き台中 【女子】1:東久留米市立西中 2:明石 市立望海中 3:ヴィアティン三重ハ ンドボールクラブU-15、小松市立芦城中

## (2) その他事業

2019 女子世界選手権、東京 2020 大会と続いたメガイベントのレガシーを活かし、国際大会としてパリ 2024 オリンピック女子アジア予選を広島県広島市で開催した。残念ながら出場権が獲得できなかったこと、大会の収支で赤字になったこともあったが、ウズベキスタンの大会直前のキャンセルなどを乗り越え、経費を抑えたスマートな大会運営ができたことについては、アジアハンドボール連盟からの称賛の声もあったとおり、日本の運営力、ホスピタリティを十分に発揮できたと思われる。しかしながら、国際大会を誘致する上では、JHA の関与度を高め、観客の増加、収益増に寄与する大会運営を目指すべきであった。

その他は以下の通り。

- ①各カテゴリー、全国・地域別の各大会における円滑な大会・競技運営のための大会役員養成並びに大会招致・運営マニュアル等の作成については継続しておこなっている。
- ②競技記録システムを含めた公式記録の運用・取扱いの手順書作成は完成に至っていない。
- ③用具検定規程を含む、競技関係の規程・細則・通知など見直しも継続中である。
- ④競技日程調整(スケジュール)を含む、JHA 主催大会(日本選手権、JAPAN CUP、日韓定期戦など)の計画・立案のための各部門(強化育成本部、マーケティング本部、関係連盟等)との連携・協力体制の構築については、強化育成本部を中心に、事務局内で調整を行っていただいている。
- ⑤国際、国内大会への JHA 関与度の向上と開催地・他部門との連携強化と国内で行う国際、国内大会の収益および集客の増加については、日本選手権を協会主導で協賛獲得から運営、会計業務まで一貫しておこなった。今後もこの方式で実施することとなった。ただし、集客については、現行の実施形態では改善は難しいものと思われる。

## 6. 広報に関する事業

### (1) 記者会見

- ・ 4月4日 パリ2024オリンピック女子ハンドボールアジア予選 開催地決定記者会見
- ・ 7月1日 公益財団法人日本ハンドボール協会 新体制発表記者会見
- ・ 8月8日 パリ2024オリンピック女子アジア予選 Hiroshima JAPAN メンバー発表会見
- ・ 10月30日 男子代表パリ2024オリンピック出場決定記者会見

### (2) 国内、国際大会の関連取材・情報提供

- ・ 4月26日～4月28日 3 Nations Men's International Tournament 2023 in Tunisia
- ・ 6月7日～6月11日 高松宮記念杯第11回全日本社会人選手権大会
- ・ 6月20日～7月2日 第24回男子ジュニア世界選手権
- ・ 6月30日～7月9日 第17回女子ジュニアアジア選手権
- ・ 7月15日～7月24日 第10回女子ユースアジア選手権
- ・ 7月26日～7月31日 高松宮記念杯第74回全日本高校選手権大会
- ・ 7月26日～7月28日 Collagenius Cup (女子日本代表ハンガリー遠征)
- ・ 7月31日～8月2日 パリ・サン＝ジェルマン ハンドボールジャパンツアー2023
- ・ 8月2日～8月13日 第10回男子ユースアジア選手権
- ・ 8月3日～8月6日 第36回全国小学生大会
- ・ 8月4日～8月6日 全国中学生ハンドボールクラブカップ2023
- ・ 8月17日～8月23日 パリ2024オリンピック女子アジア予選 Hiroshima JAPAN
- ・ 8月21日～8月23日 第52回全国中学校大会
- ・ 8月24日～8月29日 令和5年度日韓中ジュニア交流競技会
- ・ 9月9日～9月10日 第25回全日本ビーチハンドボール選手権大会
- ・ 9月24日～10月5日 第19回アジア競技大会
- ・ 10月18日～10月28日 パリ2024オリンピック男子アジア予選
- ・ 11月4日～11月8日 高松宮記念杯男子66回女子59回全日本学生選手権大会
- ・ 11月29日～12月17日 第26回女子世界選手権
- ・ 12月13日～12月17日 第75回日本選手権大会 (男子の部)
- ・ 12月24日～12月27日 第32回 U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会
- ・ 12月24日～12月28日 第75回日本選手権大会 (女子の部)
- ・ 1月11日～1月25日 第21回男子アジア選手権
- ・ 3月24日～3月27日 第19回春の全国中学生選手権大会
- ・ 3月24日～3月29日 第47回全国高等学校選抜大会 Presented by MIZUNO

### (3) 日本代表合宿 メディア公開

#### ① 男子日本代表

- ・ 5月17日 第1回強化合宿 (東京都・NTC)

#### ② 女子日本代表

- ・ 4月29日 第2回強化合宿 (福岡県)
- ・ 5月21日 第3回強化合宿 (山口県)
- ・ 5月22日 第3回強化合宿 (香川県)
- ・ 6月15日 第4回強化合宿 (和歌山県)
- ・ 6月21日 第4回強化合宿 (富山県)
- ・ 6月25日 第4回強化合宿 (福井県)
- ・ 7月8日 第5回強化合宿 (沖縄県)
- ・ 9月7日 第7回強化合宿 (大阪府)
- ・ 3月22日 第10回強化合宿 (佐賀県)

### (4) プレスリリース (ホームページ、メール、SNS、PR タイムス)

国内大会・国際大会の結果配信、新規協賛、取材案内、男女日本代表情報など

### (5) SNS (2023年4月→2024年3月)

- ・ JHA X (旧Twitter) 11,296人→13,895人 (+2,599人)
- ・ JHA Instagram 16,747人→20,852人 (+4,105人)
- ・ 日本代表 X (旧Twitter) 11,927人→16,128人 (+4,201人)

- ・ 日本代表 Instagram 14,066人→20,110人 (+6,044人)
- ・ JHA Facebook 11,746人→12,126人 (+380人)
- ・ JHA YouTube 15,402人→17,447人 (+2,045人)
- ・ TikTok (2023年12月新設) 1,760人

(6) 試合放映

①地上波テレビ中継：

第74回日本選手権（男子の部）決勝＝NHK Eテレ

②BSテレビ中継：

高松宮記念杯男子第66回女子第59回全日本学生選手権大会 決勝＝BS松竹東急

IHFオリンピック女子世界最終予選＝BS松竹東急

③インターネット配信：

パリ・サン＝ジェルマン ハンドボールジャパントアール2023、パリ2024オリンピック女子アジア予選 Hiroshima JAPAN、全国中学生ハンドボールクラブカップ2023、第75回日本選手権（男子の部）、第75回日本選手権（女子の部）、第32回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会、第19回春の全国中学生ハンドボール選手権大会、第47回全国高等学校選抜大会 Presented by MIZUNO

## 7. マーケティングに関する事業

(1) パートナー企業に対する関心の高い事業へ共同参画出来る機会の創出

- ・ 育成年代への支援を通じた社名露出機会の創出を約束するパートナーシップ契約（契約内容の履行は2024年度事業より）

(2) ハンドボールに紐づく社会貢献活動を通じた協賛形態の創出

- ・ JOCとのマーケティング連携の取組の一環で、ビーチハンドボール日本選手権の大会計画に沿った協賛企業と協業での社会貢献活動を実施

(3) 新規パートナーとの協賛契約獲得・内定、及びご寄付実績

- ・ オフィシャルサプライヤー1社との新規契約
- ・ オフィシャルスポンサー1社との新規契約
- ・ オフィシャルスポンサー2社との契約内定
- ・ ご寄付実績：法人・団体 6件、個人 27件

(4) 大会を活気づける物販ブースの設置

- ・ 全国中学生ハンドボールクラブカップ2023：3社
- ・ 第19回春の全国中学生ハンドボール選手権大会：1社
- ・ 第47回全国高等学校選抜大会 Presented by MIZUNO：7社
- ・ 第75回日本選手権（男子の部）：7社
- ・ 第75回日本選手権（女子の部）：3社

(5) MY HANDBALL 機能を用いた利用者にとって有益と思われる情報の提供

- ・ 協賛社と提携し、商品、サービス、キャンペーン、クーポンのご案内等の情報の提供を行うことで、協賛社のサービス周知の機会を創出した

(6) 既存パートナー社の権利履行

- ・ パリ2024オリンピック女子アジア予選Hiroshima JAPAN、全国中学生ハンドボールクラブカップ2023、第75回日本選手権（男子の部）、第75回日本選手権（女子の部）、第32回U-15ジュニアセレクトカップハンドボール大会、第19回春の全国中学生ハンドボール選手権大会、第47回全国高等学校選抜大会Presented by MIZUNO

(7) 旅行会社登録制度の運用と次年度選定

- ・ オフィシャルツアーリスト 2社による運用
- ・ 次年度のオフィシャルツアーリスト3社の選定

## 8. 総務に関する事業

### (1) 諸会議の開催

- ① 評議員会 6月25日定時評議員会
- ② 理事会 4月8日臨時理事会、6月3日第1回理事会、6月21日臨時理事会、7月1日臨時理事会、7月25日臨時理事会、9月9日臨時理事会、10月10日臨時理事会（書面）、11月18日第2回理事会、12月3日臨時理事会、2月17日第3回理事会、3月9日臨時理事会、3月24日臨時理事会
- ③ 常務理事会 5月13日、9月9日、10月1日、1月20日
- ④ 全国理事長会 9月30日、2月18日

### (2) ガバナスコードの自己説明をHPにて実施。

### (3) 運用上に課題のある規程の改訂、及び規程の新設を行う。

- ・加盟団体規程の改訂
- ・定款の改訂
- ・全国理事長会運営規程の改訂
- ・コンプライアンス規程の改訂、コンプライアンス委員会規程の新設
- ・寄附金取扱い規程の改訂
- ・懲罰規程の廃止
- ・日本代表活動派遣規程、契約競技者経費取扱い規程の改訂
- ・海外旅行保険に関わる規程の改訂

## 9. 財務・会計に関する事項

経常収益は、登録料の改定と強化協力金が増加したことにより、受取会費が前年度比 108 百万円増加の 302 百万円、パリ五輪アジア予選マーケティング収入等の増加により、事業収益が前年度比 124 百万円増加の 218 百万円、受取補助金等は日本オリンピック委員会等の減少により、前年度比 61 百万円減少の 95 百万円となり、経常収益は前年度比 237 百万円増加の 713 百万円となった。経常費用は、パリ五輪アジア予選の委託費、旅費等の増加により、前年度比 332百万円増加の 849 百万円となった。その結果、当期経常増減額は、前年度比 94 百万円減少の△ 135 百万円となった。また、特定資産については、パリ五輪アジア予選に向けた国内強化合宿の実施、外国籍指導者経費の支払い等により 123 百万円を取り崩し、当期末残高 97 百万円となった。

## 10. 国際に関する事業

### (1) 日本代表チーム・役員・レフェリー等の派遣及び海外チーム招聘等に関する事業

日程	カテゴリー/参加者	大会名称	開催地
4月	男子代表	3 Nations International Tournament	チュニジア
6月	男子ジュニア	第24回男子ジュニア世界選手権	ドイツ、ギリシャ
	女子ジュニア	第17回女子ジュニアアジア選手権	香港
	審判1ペア	第25回男子クラブリーグアジア選手権	イラン
	TD1名		
審判1ペア	Premier Handball League	インド	
7月	女子ユース	第10回女子ユースアジア選手権	インド
	女子代表	Collagenius Cup	ハンガリー
8月	女子代表	パリオリンピック女子アジア予選	日本（広島）
	審判1ペア	パリオリンピック女子アジア予選	日本（広島）
	TD1名		
	男子ユース	第10回男子ユース世界選手権	クロアチア
9月	男子代表	第19回アジア競技大会	中国
	女子代表		
	審判1ペア	第19回アジア競技大会	中国
	TD1名		
10月	男子代表	パリオリンピック男子アジア予選	カタール
	TD1名	パリオリンピック男子アジア予選	カタール
	レクチャラー	IHF Trophy Oceania Phase	ニューカレドニア
11月	TD1名	第26回男子クラブリーグアジア選手権	クウェート
	女子代表	第26回女子世界選手権	デンマーク、ノルウェー、スウェーデン
12月	審判員	国際審判員養成プログラム	日本（仙台）
1月	男子代表	第21回男子アジア選手権	バーレーン
	審判1ペア	第21回男子アジア選手権	バーレーン
	TD1名		

### (2) 国際会議等ならびに派遣に関する事業

#### ①国際ハンドボール連盟（以下、IHF）関係

- ・ IHF総会、理事会などの参加手続きと議題及び議事録の翻訳作業を実施。
- ・ 第24回男子ジュニア世界選手権、第10回男子ユース世界選手権、第26回女子世界選手権への各代表チームとIHF Trophy等のレクチャラーや審判員の派遣業務の連絡調整を実施。
- ・ パリ2024オリンピック女子アジア予選におけるIHF役員の現地サポートを実施。
- ・ 渡辺名誉会長のIHF副会長就任に関する事務手続きを実施。

#### ②アジアハンドボール連盟（以下、AHF）関係

- ・ AHF総会、理事会などの参加手続きと議題及び議事録の翻訳作業を実施。
- ・ 第17回女子ジュニアアジア選手権、第10回女子ユースアジア選手権、第19回アジア競技大会、第21回男子アジア選手権の各代表チーム及びテクニカルデレゲート、審判員の派遣業務の連絡調整を実施。
- ・ パリ2024オリンピック女子アジア予選及びその視察の際のAHF役員の現地サポートを実施。
- ・ 渡辺名誉会長のAHF会長就任に関する事務手続きを実施。
- ・ AHF医事委員会の活動報告書提出のサポート実施。
- ・ 各カテゴリーのアジア選手権及びオリンピックアジア予選の開催時期変更への対応。

### (3) その他の事業

- ①国際競技力向上を目的とし、全ての国際大会への手続きを、事務局の国際対応機能を中心として対応。
- ・ 出場権を得た大会にチームを滞りない派遣と関連する諸外国等機関との連携強化を実施。

- ② IHF、AHF および諸外国との関係強化および連携を目的とし、IHF/AHF 総会等へ出席。
  - ・ 国際的動静を把握し、各国際交渉の素地の形成に向けた機能強化が図れた。
- ③ JOC 各種ミーティングに参加し、国際力強化を図った。
  - ・ 各 NF との連携強化を確認し、東京オリンピック・パラリンピックへの協力体制を中心とし、国際力向上の機能強化を推進。
- ④ JOC 国際人養成アカデミー（JISLA）の受講助成制度を構築し、2024 年度から助成を開始。
- ⑤ IHF からの依頼を受け、レジンフリー（松脂なし）ボールプロジェクトを開始。国内中学男子チームを対象としてレジンフリーボールの使用感の調査を実施し、その結果を IHF に報告。

## 1 1. コンプライアンスに関する事項

- (1) コンプライアンス規程の整備  
コンプライアンス規程を見直し、新たにコンプライアンス委員会規程を制定
- (2) 内部通報窓口受付件数  
新規内部通報受付：9件（うちコンプライアンス対象外事案3件）  
累積継続案件：8件
- (3) コンプライアンス委員会  
委員会開催3回、通報案件は速やかに情報共有実施
- (4) コンプライアンスに関する対外公表事案  
なし

## 1 2. アンチ・ドーピングに関する事項

公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）と協力し、ドーピング検査（競技会検査）時に競技団体代表者（NFR）の派遣を実施。

- (1) アンチ・ドーピング検査（NFR派遣）の実施
    - ・ 第75回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）  
期日：12月14日～17日 NFR：1名派遣  
宮城県仙台市カメイアリーナ仙台
    - ・ 第75回日本ハンドボール選手権（女子の部）  
期日：12月25日～28日 NFR：1名派遣  
岩手県花巻市総合体育館
- （アンチ・ドーピングアウトリーチ活動はインテグリティ推進委員会にて実施）

## 1 3. スポーツ・インテグリティに関する事項

本年度は強化本部の活動だけでなく、各本部加盟団体も交えてJHAインテグリティ推進委員会として組織を挙げての活動を発足した。

各本部が計画立案した事業計画に対する計画実行サポート（教材提供、講師紹介、進捗管理等）政府機関、専門機関（JOC、JSC、スポーツ庁、公益財団法人日本スポーツ仲裁機構、JSPO、JADA、WADA）との連携し、各々の持つ組織課題に向き合うべく活動を実施した。

- (1) インテグリティ委員会の実施
  - ・ 第1回インテグリティ委員会 5月9日19：00～19：50 Web会議（出席者18名）  
議題：インテグリティとは？  
インテグリティ委員会について（概要）  
事業計画作成・各本部団体の活動計画作成の内容について、NO！スポハラについてほか
  - ・ 第2回インテグリティ委員会について 11月13日19：30～20：00 Web会議（出席者17名）  
議題：各本部団体年間活動報告（11月まで中間報告）  
次年度委員会事業計画について
  - ・ 第3回インテグリティ委員会について 3月20日19：00～20：00 Web会議（出席者13名）  
議題：各本部団体年間活動報告（年度末報告）

## 次年度委員会事業計画について

- (2) 強化本部（代表選手強化におけるインテグリティ教育）  
・JHA行動規範／医事委員会によるアンチ・ドーピング研修／JOC提供プログラム（派遣前手続時）

### (3) オンライン研修

オリンピック強化指定選手向け（派遣前手続時：アジア競技大会前）

#### ①JOC派遣前手続研修プログラム

- ・派遣前手続研修（4月10日）受講者：女子日本代表選手19名・スタッフ3名
- ・派遣前手続研修（4月11日）受講者：女子日本代表選手11名・スタッフ3名
- ・派遣前手続研修（4月26日）受講者：男子日本代表選手14名
- ・派遣前手続研修（4月27日）受講者：男子日本代表選手9名
- ・派遣前手続研修（5月19日）受講者：男子日本代表スタッフ（役員）5名

#### ②NF個別プログラム

男子日本代表

- ・5月15日：日本代表としての行動規範（選手・スタッフ27名）
- ・6月19日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ28名）
- ・8月1日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ24名）
- ・9月11日：アジア競技大会期間中日本代表としての行動規範（選手・スタッフ22名）
- ・10月9日：オリンピックアジア予選に向けて日本代表としての行動規範・飲酒喫煙など自己コンディションニング維持について（選手・スタッフ28名）

女子日本代表

- ・4月9日：日本代表としての行動規範（選手・スタッフ38名）
- ・5月16日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ27名）
- ・6月15日：日本代表としての行動規範（選手・スタッフ28名）
- ・9月7日：アジア競技大会における行動規範（選手・スタッフ22名）

### (4) アンダー代表選手他：JOCによる研修ノウハウの提供

（動画教材、研修マニュアルなどを用いた研修）

男子U-19

- ・4月6日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ26名）

男子U-21

- ・6月4日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ23名）

女子U-20

- ・5月10日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ26名）

女子U-18

- ・5月10日：日本代表としての行動規範・アンチ・ドーピング研修（選手・スタッフ26名）

### (5) 加盟団体の取り組み

#### ①都道府県ブロック

- ・4月25日：「NO！スポハラ」活動協力依頼：地方、都道府県メール展開内容伝達・共有
- ・7月4日：「NO！スポハラ」保護者向けセミナー・ワークショップについて情報提供
- ・10月26日：スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉の改定について  
【スポーツ庁より】メール展開
- ・11月8日：「NO！スポハラ」活動に関する周知・協力依頼メール地方ブロック都道府県メール

#### ②全日本学生ハンドボール連盟

- ・11月3日：全日本学生選手権大会代表者会議アンチ・ドーピング啓発及びクリーンアスリート動画視聴、大会期間中アンチ・ドーピングアウトリーチ活動設置  
参加大学に2部クリーンアスリートガイド配布（選手・スタッフ・関係者）

#### ③全国高等学校体育連盟ハンドボール専門部

- ・7月26日：全国高校選手権大会の代表者会議出場校に代表者会議にて「体罰防止」「SNS利用上の注意事項に関するリーフレット配布
- ・3月24日～27日全国高校選抜大会出場校に代表者会議にて「体罰防止」「SNS利用上の注意事項」に関するリーフレット配布

- ・ 3月24日～25日岐阜会場（で愛ドーム：男子）アンチ・ドーピングアウトリーチ活動
- ・ 3月26日～27日三重会場（サオリーナ：女子）アンチ・ドーピングアウトリーチ活動
- ④日本中学校体育連盟ハンドボール競技部、中学生専門委員会
  - ・ 全国中学校大会・U-15ジュニアセレクトカップ・春の全国学生選手権大会の代表者会議において、アンチ・ドーピング教育についてのリーフレット配布。また、各大会期間中にブースを設置し、アンチ・ドーピング教育に関して、アウトリーチ活動を実施（選手・スタッフ・関係者）
- ⑤小学生専門委員会
  - ・ 6月2日：小学生専門委員会指導指針チラシ配布
  - ・ 11月7日～2月29日：全国の小学生ハンドボール選手・保護者向けアンケート実施（小学生ハンドボール活動満足度調査）1,169名回答実施 指導内容など70%近くの改善傾向
- ⑥指導普及・発掘育成
  - ・ 11月2日～5日：第2回NTA合宿においてインテグリティ教育を実施
  - ・ 11月24～26日：NTSセンタートレーニングの教育の事前/事後課題として、インテグリティ教育を実施
- ⑦日本ハンドボールリーグ
  - ・ メディア、SNS、インテグリティに関する知識と対応力を身に着ける  
2023年度新規登録選手、役員研修
  - ・ ジュニアリーグ向けアンケート
- 6) JSP0公認スタートコーチ養成講習会およびコーチ3養成講習会におけるインテグリティ教育の実施
  - ・ 公認スタートコーチ養成講習会で「指導者の役割と責任」（90分）を実施  
全国31都道府県、3学連（6/11～1/28）で合計941名の指導者が受講  
※2022年度の受講者数は466名
  - ・ 公認コーチ3養成講習会で「スポーツ・インテグリティ」（120分）を実施  
6月23日～25日（愛知）受講者42名  
2月16日～18日（千葉）受講者47名
- 7) アンチ・ドーピングアウトリーチ活動
  - ・ 11月3日～5日：全日本学生選手権大会 3名派遣  
北海道函館市 函館アリーナ
  - ・ 12月12日～14日：第75回日本ハンドボール選手権大会（男子の部） 1名派遣  
宮城県仙台市カメイアリーナ仙台
  - ・ 12月23日～25日：U15セレクトカップ 1名派遣  
徳島県アミノバリューホール・トモニアアリーナ

## 1 4. アスリート委員会

### (1) 委員会の開催日程

- ・ 第1回：2023年11月16日(木)19:00～20:00 (W e b)
- ・ 第2回：2024年3月22日(金) 19:00～20:00 (W e b)

### (2) アスリート委員会の具体的な活動方針と内容を明文化

我が国におけるハンドボールのアスリートの権利権益の保護が図られるよう適正な支援に資する活動の推進、およびアスリートの立場による意見を日本ハンドボール協会へ反映すること。

### (3) JOCアスリートフォーラム

2024年3月13日(水)にJOCアスリート委員会が中心となり、「オリンピック研修会」をより発展させた「JOCアスリートフォーラム」が開催された。

目的：今回のアスリートフォーラムは、JOC及びJOCアスリート委員会の役割を伝えるとともに、我が国のスポーツ界が抱える各種課題の解決策やオリンピック講話等から様々な知見を得ることに  
より、参加オリンピック及びNFアスリート委員会の今後の活動を活性化させること。

参加者：事務局より1名

内容：・ JOCの役割と予算の流れ

- ・ JOC、OCA、IOCの各アスリート委員会活動の実態
- ・ 分科会

・オリンピックによるトークセッション（北島康介、野村忠宏、伊調馨）

(4) 委員会からの意見に対するフィードバック

第1回の委員会の際に出た意見に対するフィードバックを第2回の委員会にて行った。

①アスリート委員会の具体的な活動方針と内容を明文化

我が国におけるハンドボールのアスリートの権利権益の保護が図られるよう適正な支援に資する活動の推進、およびアスリートの立場による意見を日本ハンドボール協会へ反映すること。2022年度は、まずハンドボール界のトップである「日本代表」に着目し、日本代表を取り巻く環境の改善に努める。

②アスリート委員会からの意見提言を常務理事会・理事会・事務局に向けて行なった

・常務理事会への報告【5月14日（土）】

・ホームページへアスリート委員会メンバーの掲載

・代表選手へご意見フォームを周知

・理事会へ報告【6月11日（土）】

元日本代表選手、現役日本代表選手からの要望を関係本部へ提案

・事務局への意見提言【10月20日（木）】

選手の個人負担金低減

国際大会に参加しない場合の迅速な理由説明

強化ビジョンの展開

日本代表メンバーに外れた際のチームと本人への説明

JHA と JHL のスケジュール連携

日本代表のブランディング

## 15. ビーチハンドボール委員会

(1) 第24回全日本ビーチハンドボール選手権

2023年9月8日（土）、9日（日）

愛知県碧南市碧南緑地ビーチコート

出場 女子 7チーム（60名）

男子 11チーム（103名）

順位 女子 1位 SWAG 2位 Charlie' s 3位 raccolta大阪

男子 1位 BBJ 2位 BUZA 3位 シースター東海

9月9日の試合前にスポGOMIを実施

(2) 委員会活動

委員長、副委員長を中心に各ブロック協会から参加いただき、月に一度Web会議にて情報交換を行った。

(3) 渋谷ビーチハンドボールフェスタ

2024年3月24日に渋谷区宮下パークにて体験会、エキシビジョンマッチを実施

小学生13名が体験会に参加

(4) 宮下パークイベント

2024年3月2日に渋谷区宮下パークにてエキシビジョンマッチを実施

元々はTOKYO2020の際にSHOWCASEとして企画していたイベントであったが、コロナの影響で中止となってしまったため、内容を改めてイベントを実施

(5) レフェリー審査会講師派遣

ビーチハンドボールでの審判資格制度開始に伴い、宮崎県宮崎市、茨城県行方市のプライベート大会にて2名を派遣し、レフェリー講習会を実施

また、第24回全日本ビーチハンドボール選手権の際にもレフェリー講習会を実施

2023年度ビーチB級審判資格申請者数 51名

事業報告に係る附属明細書  
記載すべき事項はありません。

以上